

# 週報

2020年10月18日 第29号(創立1907年12月8日)

日本基督教団 洛北教会 主任担任教師 岡本知之

〒603-8146 京都市北区鞍馬口通寺町西入下ル 285-83

Tel 075(231)6676 Fax (223)5505 <http://rakuhoku-church.com>

## 聖霊降臨節第21主日

10時45分

前奏

礼拝招詞 (一同起立)

讃美 529(1節のみ)

主の祈り (564)

使徒信条 司式者：我らはかく信じ、代々の聖徒と共に、使徒信条を告白す。

一同：我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、処女マリアより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、三日目に死人のうちよりよみがへり、天に昇り、全能の父なる神の右に坐したまへり、かしこより来りて、生ける者と死ねる者とを審きたまはん。我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交はり、罪の赦し、身体とこしへのよみがへり、永遠いのちの生命を信ず。アーメン

聖書朗読 テモテへの手紙二 3章10節～17節(新約聖書394頁)

間奏

祈禱 岡本知之牧師

説教 「人生の基盤」 岡本知之牧師

献金 (感謝と献身のしるし)

報告

541

頌禱

後奏

司式 井上直  
奏楽 中西聖嗣

## 礼拝招詞

きょうだいたち、喜びなさい。初心に帰りなさい。励まし合いなさい。思いを一つにし、平和に過ごしなさい。そうすれば、愛と平和の神があなたがたと共にいてくださいます。

コリントの信徒への手紙二  
13章11節

## <報 告>

\*10月より「短縮礼拝」の形で「集合礼拝」が再開されています。「朝の聖書研究会」も短縮して再開していますが、夜の「祈祷会」は引き続き休会とします。また礼拝に出席することが困難な方のために「短縮礼拝」の間はライブ配信も続けます。毎週の週報の発送も受け付けますので、ご希望の方は教会までお申し出下さい。

## <個人消息>

\*松永由希奈  
先日お生まれの女の子に萌花(ほのか)と命名されました。

## <今週の集会>

\*聖書研究会 21日(水)10時半  
聖書研究・司会 大濱計介  
申命記(1)

## <次週の案内>

聖霊降臨節第22主日  
10月25日  
10時45分

説教 「義の栄冠」  
岡本知之牧師

司式 石橋真人  
聖書 テモテへの手紙二  
4章1節～8節

讃美 164(1節のみ)  
奏楽 三浦真実子

10月当番役員 岸本祐子

## <集会統計>

	曜	集会	男	女	計
7	水	朝の聖研	5	6	11
11	日	主日礼拝	20	31	51
14	水	朝の聖研	5	8	13

## <説教黙想>

### 「水曜日の聖書研究会、ご出席をお待ちしています」

テモテの教会には、「キリストと共に死に、共に生きる」事を忘れて、「聞く者を破綻させる」異端者達がありました(2章14節)。彼らは「復活はもう起こった」と主張する人々であり、「俗悪な無駄話を語る者たち」です(2章16, 18節)。パウロが語ったのは肉体の復活であったが、この人々は復活を「霊的復活」と捉えてその完了を主張していたのです。この考え方は、ヘレニズムの思想には受け入れやすいものであったと思われます。

しかしパウロはここで、正しい信仰に生きる人の「二つの徴」を語ります。一つは「迫害」であり、具体的には「キリスト・イエスに結ばれて信心深く生きようとする人は皆、迫害を受ける(12節)」という事です。今一つは「聖書」であり、「この書物は、キリスト・イエスへの信仰を通して救いに導く知恵を、あなたに与えることができる(15節)」ということです。その人が迫害を受けているか否か、そこにその人の信仰の真否がある。何故そう言えるかという世は偶像を崇拝しない者を憎むからである。

それに対して聖書は「人を教え、戒め、誤りを正し、義に導く訓練をする」(16節) ことにおいて、「救いに導く知恵を私たちに与える」(15節)。ここでの知恵は<グノーシス>ではなく<ソフィサイ(ソフィア)>、名詞ではなく動詞のアオリスト・能動・不定詞であり、「賢くさせること」を意味します。訳せば「救いに向かって私たちに賢明な者とする事」となります。

私たちは霊的復活者ではなく、地にあつてなお肉体を持って生きる者です。またグノーシス主義者が言うような「救いに導く知恵」を既に持っているわけでもありません。しかし私たちにはキリスト・イエスとの強い絆があり、その霊の導きがあります。その全ての力を私たちは活ける神の言葉である聖書から頂くのです。

## <会計報告>(10月11日分)

\*短縮礼拝の間、礼拝献金、月次献金、感謝献金等は教会へ直接ご持参頂るか、郵便振替、銀行振込にてお捧げ下さい。教会財政保持のため、ご協力よろしくお願ひします。

### 礼拝への備え

- \*気持ちに余裕をもって礼拝をささげるためにも礼拝開始10分前には着席し、私語は慎みましょう。
- \*聖書朗読中や祈祷中は入堂を控えましょう。
- \*携帯電話の電源はお切りください。

◎郵便振替口座：01020-0-24987

◎口座名称：日本基督教団洛北教会

◎洛北教会 email：rakuhoku@eos.ocn.ne.jp